

関東地方整備局同時発表

平成27年4月24日  
道路局 国道・防災課

圏央道 神崎IC～大栄JCT間が6月7日に開通します  
～ つながる。まわる。圏央道。～  
国際競争力と成長を支える道路

標記について、別紙のとおり発表されましたので、お知らせします。

なお、詳細につきましては、関東地方整備局、東日本高速道路株式会社の問い合わせ先におたずね願います。

【問い合わせ先】

国土交通省 道路局 国道・防災課 企画専門官 四童子 隆  
TEL : (03) 5253-8111 (内線37832)  
直通 03-5253-8492 FAX : 03-5253-1620

国土交通省関東地方整備局 常総国道事務所 副所長 吉田武史  
計画課長 佐藤潤  
TEL : 029-826-2040 (代表)

東日本高速道路株式会社【報道関係専用】関東支社広報課  
TEL : 048-631-0222

平成27年4月24日（金）

国土交通省  
東日本高速道路株式会社



つながる。まわる。圏央道。  
圏央道(神崎IC~大栄JCT)が開通します



— 記者発表資料 —

けん おう どう      こう ざき      たい えい  
**圏央道 神崎IC~大栄JCT間が  
6月7日に開通します**  
~つながる。まわる。圏央道。~  
**国際競争力と成長を支える道路**

平成27年度にかけて、次々とつながる、圏央道。  
常磐道と東関東道がつながります。

◇ **開通による主な効果** ◇

圏央道の整備により、常磐道や東関東道などの放射方向の高速道路を結ぶ道路ネットワークが形成されます。広域的な人・物の交流により民需が拡大し、地域経済の好循環が生まれます。

**効果① 国際競争力と成長 ~民需の拡大~**

- 環状道路の整備により、沿線に物流施設や工場が立地する等、民間の投資を喚起します。
- 環状道路の整備に伴い、物流の効率化を目的とした既存施設の集約により、工場などが新たに立地されています。

**効果② 地域経済の好循環 ~新たな広域ネットワークの形成~**

- 都心を経由せず、埼玉や北関東・東北方面と成田国際空港を結ぶ新たな広域ルートが形成され、人・物の交流が活発となり、地域経済の好循環が期待されます。
- 今回その第一歩として、圏央道（神崎IC~大栄JCT間）の開通により、常磐道と東関東道がつながります。

※開通時刻、開通式典の概要については、後日お知らせいたします。

発表記者クラブ

国土交通省記者会 国土交通省建設専門紙記者会、国土交通省交通運輸記者会  
竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、千葉県政記者クラブ、茨城県政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 常総国道事務所	電話: 029-826-2040 (代表)
副所長 吉田 武史	計画課長 佐藤 潤
東日本高速道路株式会社	
【報道関係専用】 関東支社広報課	電話: 048-631-0222
【お客さま窓口】 NEXCO東日本お客さまセンター	電話: 0570-024-024
PHS・IP電話のお客さま	電話: 03-5338-7524

# 圏央道開通区間概要

● 首都圏中央連絡自動車道（圏央道）は、首都圏の道路交通の円滑化、沿線都市間の連絡強化等を目的とした都心から半径およそ40～60kmの位置に計画されている総延長約300kmの環状の自動車専用道路です。現在までに約220kmが開通しています。

● 今回開通区間の概要

路線名：一般国道468号首都圏中央連絡自動車道（圏央道）

○開通区間：神崎IC（千葉県香取郡神崎町松崎）～大栄JCT（千葉県成田市吉岡）

○開通日：平成27年6月7日（日）

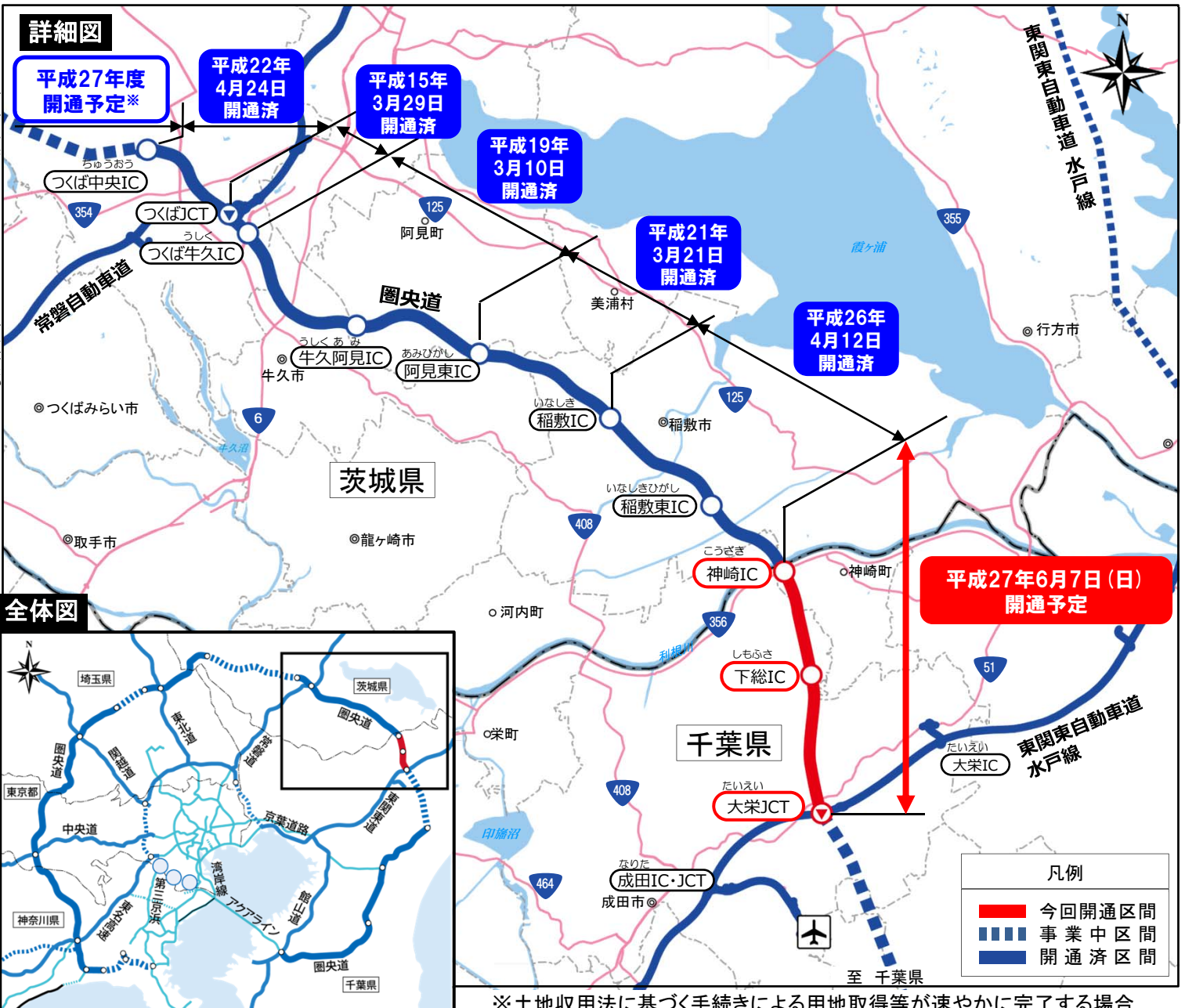
○延長：9.7km

○車線数：暫定2車線

○開通IC：下総IC

○アクセス道路：（主）成田下総線

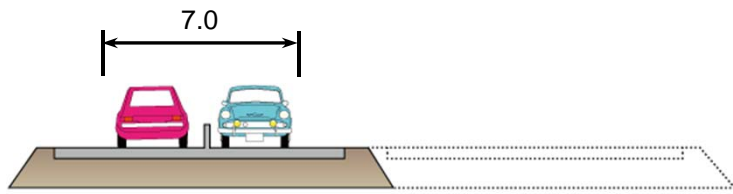
## 今回開通区間の位置図



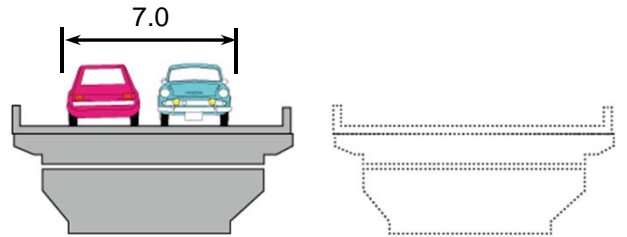


# ■今回開通区間の標準断面図

## 土工区間(盛土部)

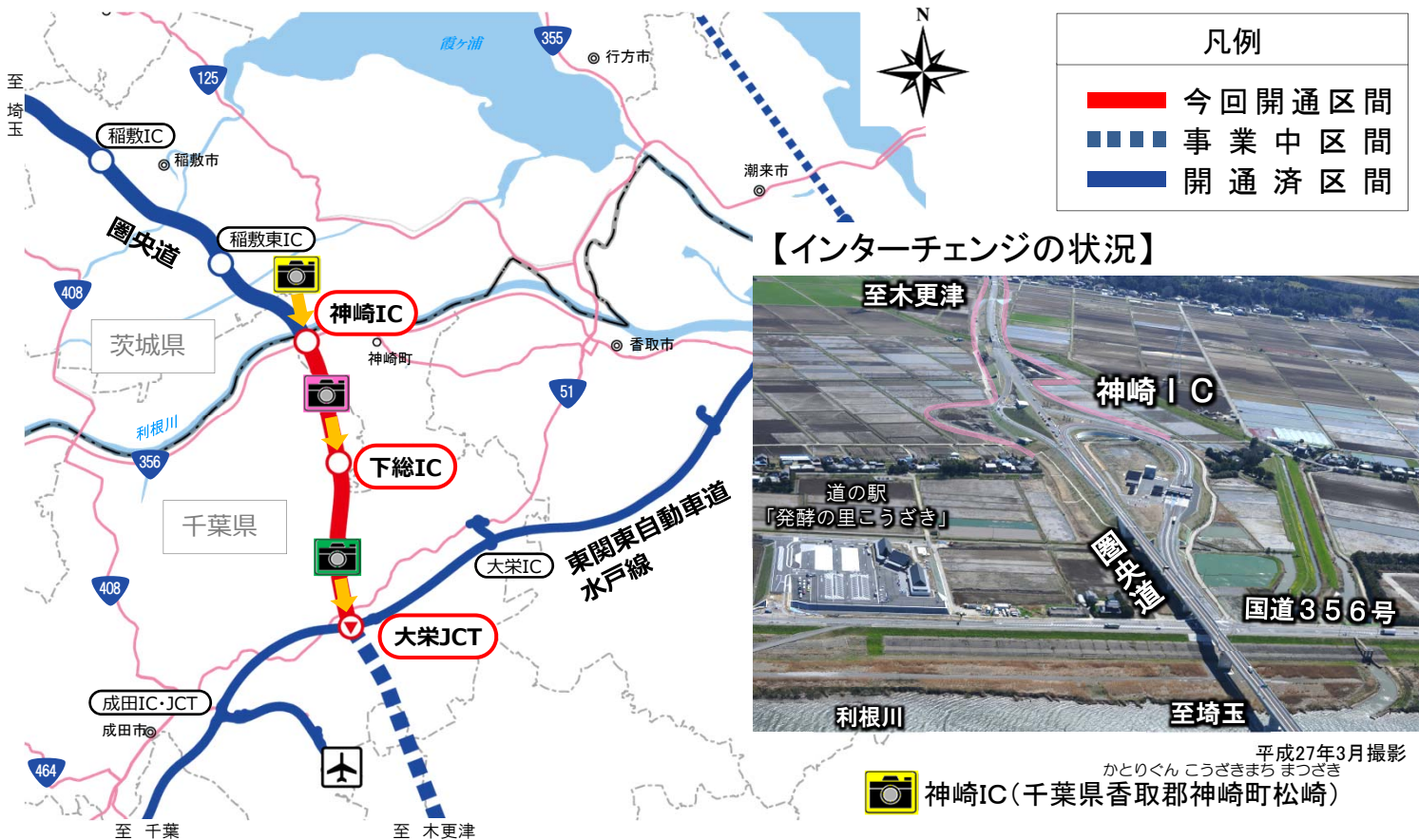


## 橋梁区間



(単位:m)

# ■今回開通区間の状況



平成27年3月撮影  
 下総IC(千葉県成田市名木)



平成27年3月撮影  
 大栄JCT(千葉県成田市吉岡)

# 効果①

## 国際競争力と成長 ～民需の拡大～

- 環状道路の整備により、沿線に物流施設や工場が立地する等、民間の投資を喚起します。早期に開通した区間では既にストック効果が発現しています。
- 圏央道(神崎IC～大栄JCT間)の開通により、常磐道と東関東道がつながり、成田国際空港へのアクセスが格段に強化されます。

物流施設や工場の立地等、民間の投資を喚起

### 【圏央道の早期に開通した区間】

・平成19年に全通した関越道～中央道間では既にストック効果が発現

製造品出荷額 (億円) 出典:工業統計調査

市町村名	H21	→	H24	(H24/H21)
日高市	1,271	→	1,579	1.24
入間市	2,823	→	3,872	1.37
羽村市	3,823	→	6,350	1.66
日の出町	529	→	637	1.20
埼玉県+東京都	197,983	→	203,373	1.03

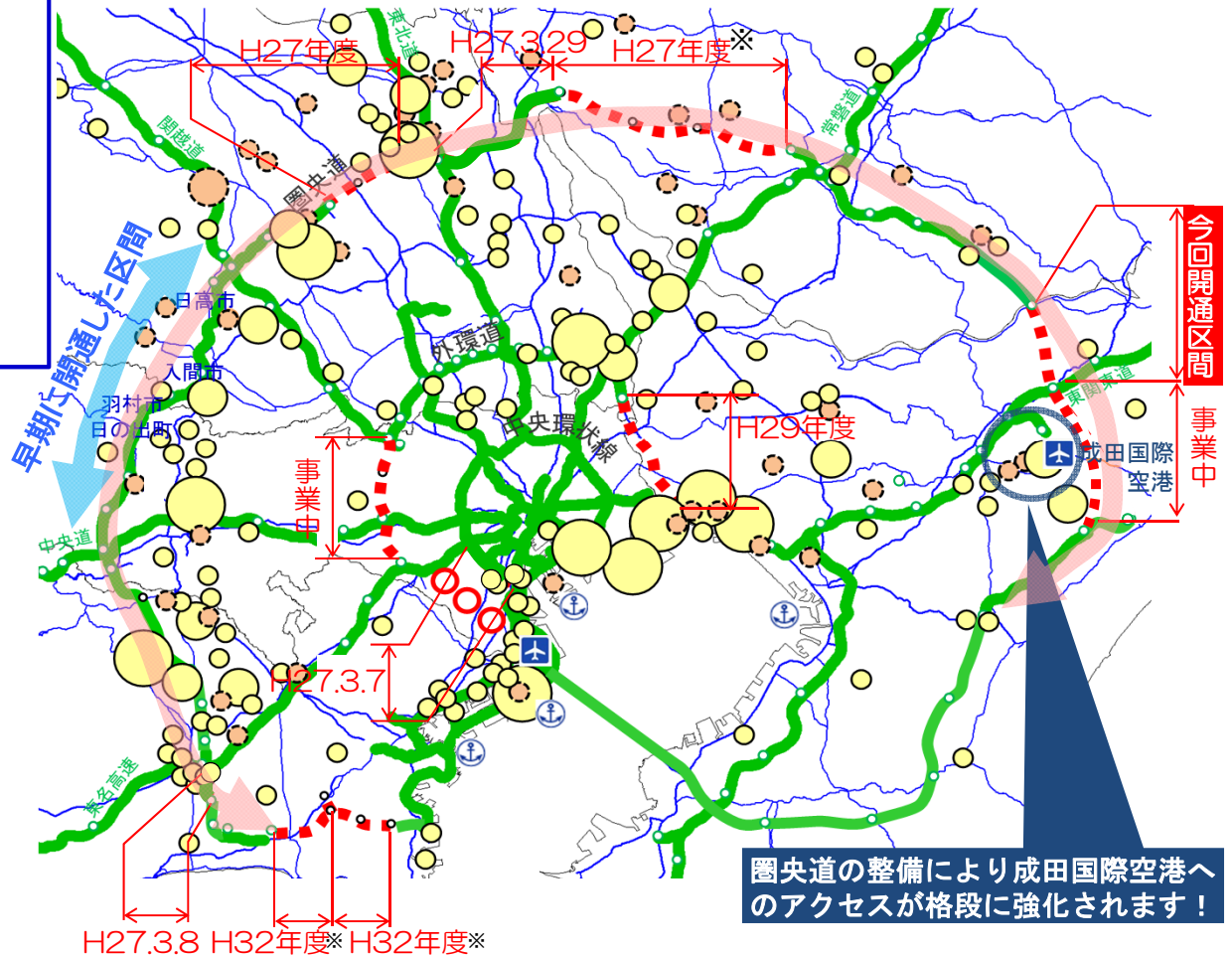
#### 凡例

道路	
	高速道路
	高速道路(事業中)
	国道
企業立地件数	
	立地済み
	立地予定
	1~2件
	3~4件
	5件以上

(H26年9月時点)

※区間の開通時期については、土地収用法に基づく手続きによる用地取得等が速やかに完了する場合

出典) 国土交通省調べ  
(平成7年以降の物流施設、工業団地、工場の立地を抽出)





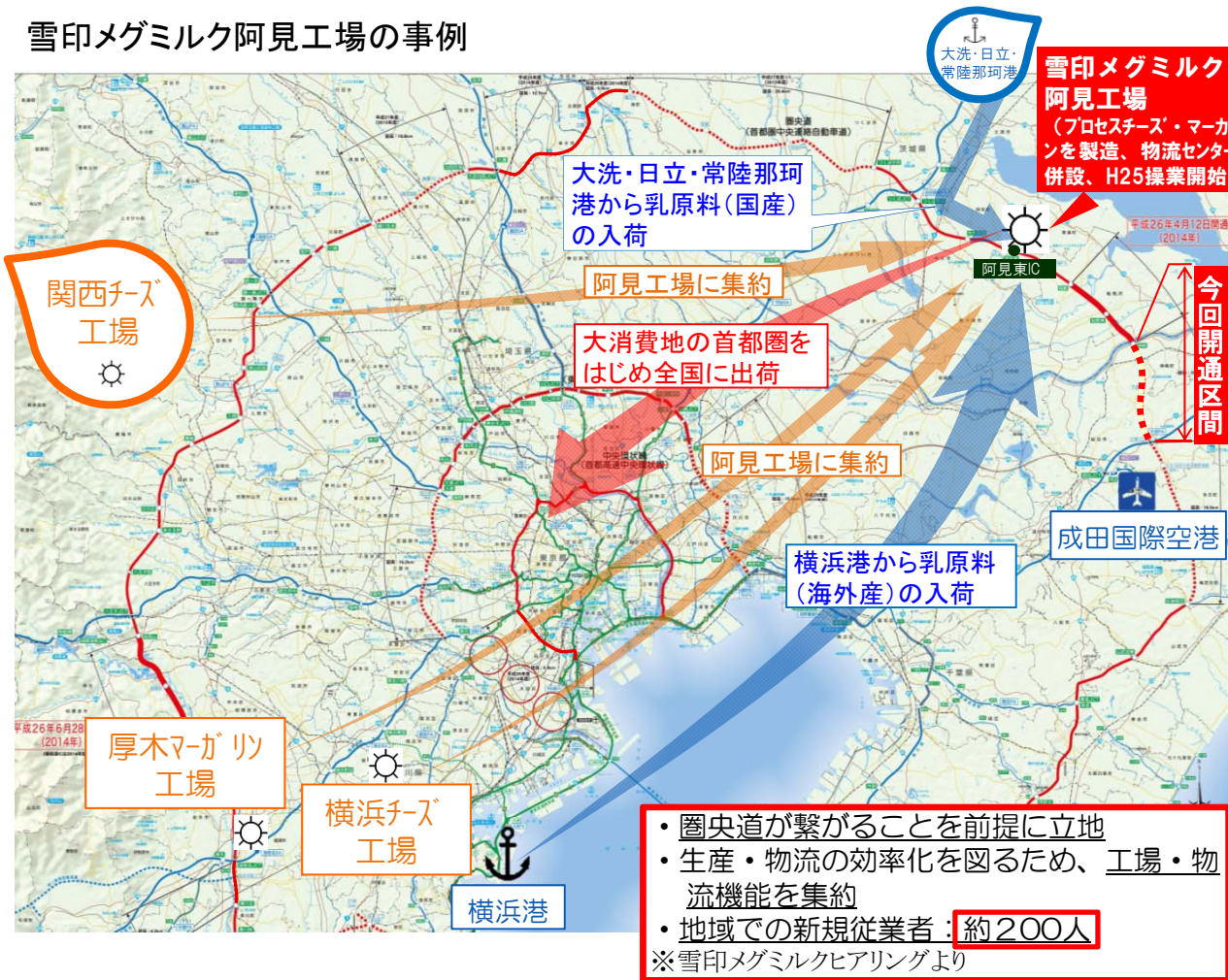
# 効果①

# 国際競争力と成長 ～民需の拡大～

- 首都圏3環状道路整備に伴い、物流の効率化を図るために既存施設を集約し、圏央道沿線地域に工場や物流施設が新たに立地されています。
- 地域における新規雇用が創出され、さらなる企業立地の誘発が期待されます。

## 圏央道沿線への物流拠点の集約・合理化

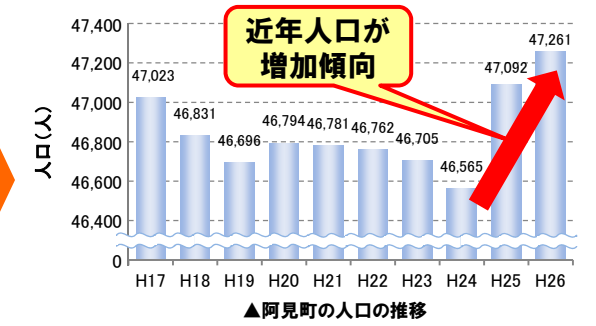
### 雪印メグミルク阿見工場の事例



### 雪印メグミルクを顧客とする企業の新設



### 阿見町の人口推移



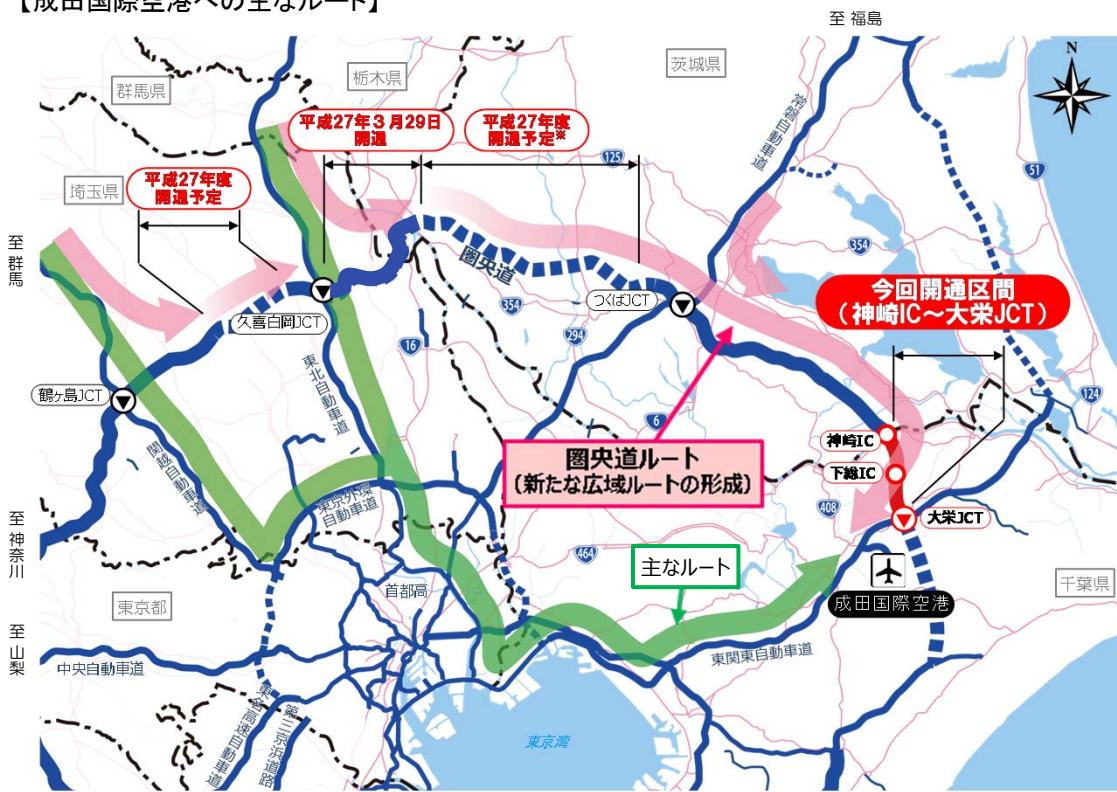
## 効果②

# 地域経済の好循環 ～新たな広域ネットワークの形成～

- 成田国際空港における国際航空貨物輸出量の約2割は埼玉や北関東・東北方面から発着しています。
- 圏央道の整備により、都心を経由せず埼玉や北関東・東北方面と成田国際空港を結ぶ新たな広域ルートが形成され、人・物の交流が活発となり、地域経済の好循環が期待されます。

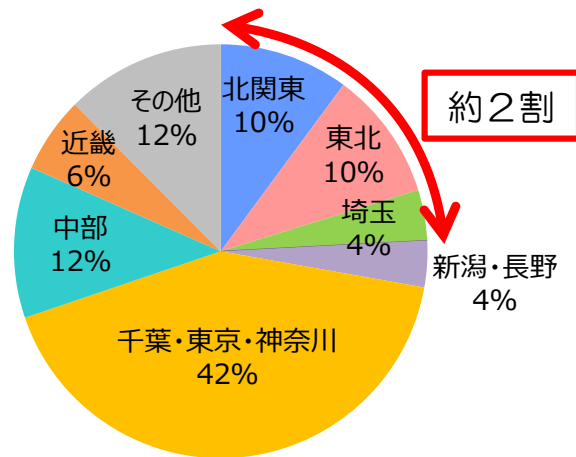
### 圏央道の開通で、新たな広域ネットワークが形成

【成田国際空港への主なルート】



※土地収用法に基づく手続きによる用地取得等が速やかに完了する場合

【成田国際空港における発着地別輸出貨物量の割合(重量ベース)】



東北には北海道を含む。  
北関東は、茨城県・栃木県・群馬県  
中部は、岐阜県・静岡県・愛知県・三重県  
近畿は、滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県

出典) 平成25年度 国際航空貨物動態調査報告書









# 首都圏を強化する3環状ネットワーク

参考

- 圏央道や首都高速中央環状線が続々と開通し、首都圏を強化するネットワークが形成されます。
- 圏央道沿線には企業立地が進んでおり、物流の効率性の向上や観光の促進が期待されます。

## 【開通区間】

- 3月 7日 首都高中央環状線(大橋JCT~大井JCT)
- 3月 8日 圏央道(寒川北IC~海老名JCT)
- 3月29日 圏央道(久喜白岡JCT~境古河IC)
- 6月 7日 圏央道(神崎IC~大栄JCT)

## 【平成27年度開通区間】

- 圏央道(桶川北本IC~白岡菖蒲IC)
- 圏央道(境古河IC~つくば中央IC)※



※土地収用法に基づく手続きによる用地取得等が速やかに完了する場合



## ■首都圏3環状の整備による主な効果

- 圏央道沿線に民間企業が進出
  - ・茨城県の新規工場立地件数は全国1位 (H26: 茨城県237件、全国平均53件) 出典：工場立地動向調査（経済産業省）
  - ・開通済区間(関越道~中央道)では製造品出荷額が増加(1.2倍~1.7倍)
  - ・ネット通販配送センターなど、物流施設も多く立地
- 渋滞を避けることが可能となり、物流の効率性が向上
- 空港アクセスが向上し、国内・海外からの観光を促進
  - ・三環状により、空港から1時間で行ける観光施設が大幅増(1.8倍)
  - ・大型商業施設や国際会議場も便利になり、インバウンド観光を促進
- ルート選択が可能となり、災害時等のリダンダンシーを強化

出典) 国土交通省調べ

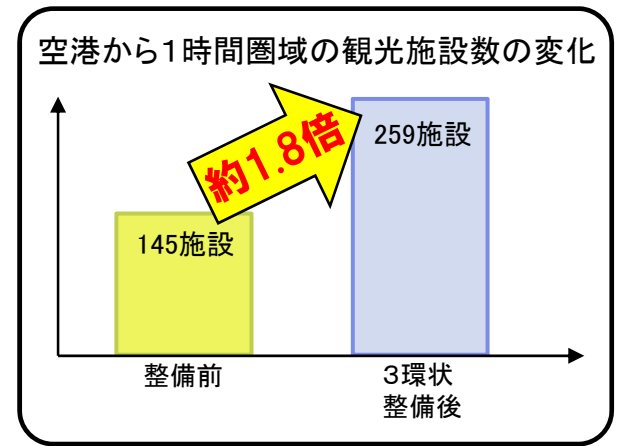


# 環状道路による観光圏拡大～関東地方の様々な観光施設が身近に～

**参考**

- 圏央道や首都高速中央環状線が続々と開通し、各観光施設へのアクセスが向上します。
- 3環状があれば成田国際空港・羽田空港から1時間圏域で到着する観光施設は約1.8倍に増加します。

## 【成田国際空港・羽田空港1時間圏域の変化】



	レジャー施設	ゴルフ場	海水浴場	合計
整備前	43	100	2	145
3環状整備後	65	179	15	259

算出方法：H22道路交通センサスの12時間平均旅行速度を使用  
 ※H22道路交通センサス調査以降の開通区間及び現在未開通区間については設計速度で算出

【出典】観光施設については以下を抽出

- レジャー施設
  - ：月刊レジャー産業2014年8月号 集客ランキング(各ジャンルTOP10)及び、るぶるサイト(rurubu.com)(各都県の人気ランキングTOP20)より抽出
- ゴルフ場
  - ：ゴルフダイジェスト・オンラインサイトより抽出
- 海水浴場
  - ：H26年環境省水浴場の水質調査対象箇所かつ利用者5万人以上の条件で抽出

# 参考 今回開通区間等の料金

## ■今回開通する区間の通行料金(通常料金)

神崎IC							
軽自動車等	110	下総IC					
普通車	140						
中型車	170						
大型車	230						
特大車	380						
軽自動車等	560	軽自動車等	450	成田IC (東関東道)			
普通車	670	普通車	530				
中型車	770	中型車	600				
大型車	1,000	大型車	770				
特大車	1,550	特大車	1,170				
軽自動車等	570	軽自動車等	460	大栄IC (東関東道)			
普通車	680	普通車	540				
中型車	790	中型車	620				
大型車	1,020	大型車	790				
特大車	1,590	特大車	1,210				

※ 大栄JCTでは乗り降りができないため、隣接する東関東道成田IC、大栄ICまでの料金を掲載しています。

## ■主要ICまでの通行料金(通常料金)

	つくば中央IC (圏央道)		柏IC (常磐道)		水戸IC (常磐道)	
神崎IC	軽自動車等	1,030	軽自動車等	1,620	軽自動車等	2,040
	普通車	1,290	普通車	2,030	普通車	2,550
	中型車	1,540	中型車	2,390	中型車	3,010
	大型車	2,110	大型車	3,230	大型車	4,090
	特大車	3,500	特大車	5,220	特大車	6,660
下総IC	軽自動車等	1,120	軽自動車等	1,750	軽自動車等	2,170
	普通車	1,400	普通車	2,140	普通車	2,660
	中型車	1,680	中型車	2,540	中型車	3,160
	大型車	2,310	大型車	3,430	大型車	4,290
	特大車	3,860	特大車	5,610	特大車	7,050

## ○ETC時間帯割引

今回開通する「神崎IC～大栄JCT」には、以下のETC時間帯割引が適用になります。

割引名称	主な内容
深夜割引	0時～4時の間に通行 30%割引
休日割引	軽自動車等および普通車が対象 土日・祝日に通行 30%割引

※ 各ETC時間帯割引の適用条件等の詳細については、NEXCO東日本のホームページ「ドラぷら」をご確認ください。

「PC」<http://www.driveplaza.com/>

「携帯」<http://m.driveplaza.com/>